

## コラム 北海道内の斜面災害等に対する技術指導



写真-1 天人峡の斜面災害



写真-2 夕張市のぼた山崩壊で形成された天然ダム



写真-3 恵庭市の道路斜面応急



写真-4 旭川市の自転車道斜面の調査

寒地土木研究所では、北海道をはじめとする地方公共団体に対する技術支援活動を積極的に進めています。

25年度は、上川総合振興局管内で平成25年5月に発生した天人峡における斜面災害（写真-1）について、北海道庁からの依頼に基づき防災地質チーム上席研究員が現地調査を実施するとともに、北海道立総合研究機構地質研究所と連携しつつ技術指導を行いました。また、空知総合振興局管内の地すべりに対して概成判定を行う委員会が開催され、防災地質チーム上席研究員が委員として参画しました。

このほか、夕張市のぼた山崩壊（寒地地盤チーム4名及び防災地質チーム4名が対応、写真-2）、恵庭市の市道における斜面对策（寒地構造チーム1名及び防災地質チーム1名が対応、写真-3）、旭川市の自転車道の斜面对策（防災地質チーム2名が対応、写真-4）等について、現地調査を踏まえ必要な調査・対策の方針・内容に関するアドバイスをを行いました。

これらの一連の技術指導により、北海道内における斜面災害等に対して、各管理者が調査・対策を適切に進めることができ、地域の安全・安心に大きく貢献しました。